

ICTプロジェクト

高校生熟議 in 大阪

～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～

開催報告書

第一回 2011年7月16日(土) (開催済)

第二回 2011年8月27日(土)

第三回 2011年11月3日(木) (予定)

【会場】大阪ユピキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

主催・共催

大阪私学教育情報化研究会

安心ネットづくり促進協議会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

2011年8月22日

第4-2版

目 次

1. 「高校生熟議 in 大阪」開催概要	1
2. 第一回リアル熟議 開催概要	4
3. 第一回ネット熟議 開催概要	8
4. 第二回リアル熟議 ファシリテーター会議 模擬熟議開催概要	14
5. 開催プログラム	17
6. 担当	20
7. リアル熟議 成果物と終了後の対応	20
8. ネット熟議 進行と成果物	20

1. 「高校生熟議 in 大阪」開催概要

名 称：	ICTプロジェクト 高校生熟議 ¹⁾ in 大阪 ～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～
主催・共催：	大阪私学教育情報化研究会 ²⁾ 安心ネットづくり促進協議会 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構
後 援：	文部科学省 総務省 近畿総合通信局
熟議支援：	文部科学省 「リアル熟議」は教育現場の皆さまに主催いただきます。文部科学省は、テーマに関する基礎資料の提供、参考資料「熟議実践パッケージ熟議虎の巻」や「実施後アンケートテンプレート」の提供、Web サイト熟議カケアイへの実施告知や熟議結果の掲載等の支援を行ってまいります。 (『文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の取組』より)
協 力：	株式会社内田洋行、株式会社 BITS PUZZLE 株式会社 SDV ホールディングス、株式会社モバイルスタッフ
開催目的：	ICT プロジェクト (International and Communication Technology Project): 『高校生の情報化と国際化に対応できるコミュニケーション能力育成に関する実証研究』とし新しい活動の一つとして大阪私学教育情報化研究会が 2003 年度から取り組みを始めました。近年その重要性和必要性が叫ばれるプレゼンテーションですが、教育現場ではプレゼンテーションのためのプレゼンテーションの練習に焦点がおかれているようです。実社会でプレゼンテーションが効果を持つためには基礎となるコミュニケーション能力の開発が前提となることが学校教育では見落とされがちなようです。このプロジェクトでは参加校から数名ずつの生徒を対象に、数回のセッションを行いプレゼンテーションの総合的な技能の向上を目指そうという企画で実施してきました。今年は昨年までと違い文部科学省がすすめる「熟議」という手法で数回のセッションを通して段階的に「考え、まとめる、話す、見せる、伝える」などの技術を練習していきます。それぞれの学校の生徒・担当者を中心にゲストのレクチャーも交えて、ケータイ・インターネットという身近なテーマと内容でプレゼンテーションの新しい形を模索し新しい時代に対応できる力の養成を図ろうと考えています。 平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年 4 月の小学校を皮切りに、年度毎に中学校、高等学校と全面实施される。急速に進化を続ける ICT (情報通信技術) を背景に、青少年が健全に ICT を活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。本プロジェクトでは、ケータイとインターネットに関する熟議から、コミュニティサイト等の利用による ICT を通じた権利やインターネット利用におけるさまざまな問題への理解について、高校生が家庭や学校で如何に取組むべきかを先進的な取組を提案し参考に資する。

<p>概 要：</p>	<p>【リアル熟議³⁾】 第一回 「ネットとケータイの問題点」 (1) アイスブレイク (2) 熟議イントロダクション (3) 熟議 (4) グループ発表 第二回 「私達にとってのケータイ、インターネットとは」 (1) ネット熟議について (2) サービス側の声 (3) 熟議 (4) グループ発表 第三回 「これからのネットとケータイを考える」 (1) 講演 (2) 熟議 (3) グループ発表 (4) 講評 総括 【ネット熟議⁴⁾】 上記リアル熟議の間の期間に、文部科学省政策創造エンジン「熟議カケアイ」サイトにてインターネット上でのネット熟議を実施</p>
<p>「リアル熟議」 参加予定校：</p>	<p>〔大阪府〕大阪羽衣学園高等学校、大阪学院大学高等学校、箕面学園高校、プール学院高校、大阪薫英学院高等学校、清教学園高校 堺女子高等学校 〔京都府〕京都女子高等学校 〔兵庫県〕兵庫県立神戸商業高等学校、須磨学園高校 〔奈良県〕関西中央高等学校 奈良県立奈良朱雀高等学校 他、近畿一円を始めとして、中部地方など各地から募集</p>
<p>日 時：</p>	<p>第一回 2011年7月16日(土) 13:30-17:00 (開催済) 第二回 2011年8月27日(土) 13:30-17:00 第三回 2011年11月3日(木) (予定) 11:00-16:30</p>
<p>場 所： (各回とも)</p>	<p>大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店) 大阪市中央区和泉町 2-2-2 アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目駅」8番出口より徒歩8分</p>
<p>募集人数：</p>	<p>募集熟議参加生徒 30名 募集見学者各回 30名</p>
<p>参加費：</p>	<p>参加費無料 [事前登録] http://www.osaka-sigaku.net/ict/index.htm</p>
<p>参加予定者 及び人数：</p>	<p>〔熟議参加高校生〕各回 30名 ・上記参加校の他、近畿一円を始めとして全国から募集 〔ファシリテーター・ファシリテーター補助・書記〕各回とも各 18名 計 54名 ・大阪私学教育情報化研究会 所属教員 ・参加校 所属教員 ・関西大学他の大学生 ・サイト監視会社、SNS 運営会社等の事業者 ・安心ネットづくり促進協議会 所属会員 ・一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 所属会員 〔来賓・登壇者〕各回 3人以上 計 9人以上 ・総務省 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課 課長補佐 中村朋浩 様 ・文部科学省 生涯学習政策局 政策課 ・文部科学省 スポーツ・青少年局青少年課 課長補佐 関根章文 様 ・(講評) 日本教育工学協会 理事/熊本市立河内中学校 教頭 桑崎 剛 先生 ・大阪私学教育情報化研究会 会長 白井孝雄 先生 ・大阪私学教育情報化研究会 副会長 米田謙三 先生</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・違法・有害情報相談センター 実務アドバイザー 鎌田真樹子 様 ・株式会社ガイアックス、NHN Japan 株式会社、グリー株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー 他 <p>〔アドバイザー参加〕各回 1名 計 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢星陵大学 人間科学部こども学科 教授 村井万寿夫 先生 ・柏市教育委員会 柏市立教育研究所 指導主事 佐和伸明 様 ・安心ネットづくり促進協議会 普及啓発委員会 副委員長 尾花紀子 様 <p>〔見学者〕各回 50人以上 計 150人以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心ネットづくり促進協議会 事務局 ・一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局 ・株式会社内田洋行 ・株式会社 BITS PUZZLE ・株式会社 SDV ホールディングス、株式会社モバイルスタッフ ・応募見学者 <p>近畿一円を中心とした各地の高校生による熟議をより密度の濃いものとするために、子どもとケータイやネットに知見を有する全国各地の教職員を始めとして、学識者、有識者、民間団体、事業者がサポートし、各回、総勢 100 名以上が参加する予定です。</p> <p>なお、今回の開催を契機に、全国の学識者や有識者がサポートすることにより、各地の高校生熟議の開催に拡げていく予定です。</p>
<p>ネット熟議 スケジュール：</p>	<p>第一回 2011年7月17日(日)00:00~2011年8月21日(日)24:00 熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」</p> <p>第二回 2011年8月28日(日)00:00~2011年9月25日(日)24:00 熟議テーマ「高校生にとってのケータイ、インターネットとは」</p> <p>第三回 2011年9月26日(日)00:00~2011年10月23日(日)24:00 熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」</p> <p>文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ (http://jukugi.mext.go.jp/) (ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。)</p>
<p>運営責任者：</p>	<p>[総責任者] 大阪私学教育情報化研究会 副会長 羽衣学園高校 教諭 米田謙三 kenzoo@cd5.so-net.ne.jp</p> <p>[熟議担当者] 文科省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員 鎌田真樹子 kamata@growing-tree.jp</p> <p>[企画・運営担当] 安心ネットづくり促進協議会 事務局 石原友信 ishihara@fmmc.or.jp 03-5403-0427 東京都港区虎ノ門三丁目22番1号 秀和第二芝公園三丁目ビル2階 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用 事務局 吉岡良平 yoshioka_r@ema.or.jp 03-69313-9235 東京都港区西麻布1-4-38 千歳ビル3階</p>

2. 第一回リアル熟議 開催概要

<p>第1回概要：</p>	<p>第1回は高校生、教員、企業関係者など90名以上の参加者を得て、「ネットとケータイの問題点」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【第1部】 総務省総合通信基盤局の中村氏よりインターネットと違法・有害情報への政府の取組が紹介された。</p> <p>「論理的思考力を鍛えるアイスブレイク」 米田教諭（羽衣学園高校）の説明に始まり、続いてグループ内で自己紹介を行いました。グループの融和に利用されたのは、「BITS PUZZLE」と呼ばれるパズル。iPodやiPadを交互に使用して体験した後、実物のパズルも体験し打ち解けた雰囲気となりました。</p> <p>【第2部】 『熟議とは』 熟議の委員を務める違法有害情報相談センター実務アドバイザーの鎌田氏より熟議の定義が説明された。熟議では、意見交換のプロセスが大切であることが強調された。参加の高校生は熟議を行って問題について理解を深め意見交換を行う中で、自分とは異なる意見を尊重し、また共感して問題解決につなげる意義を感じたようであった。またインターネットを活用して行われるネット熟議「熟議カケアイ」についても積極的な参加が呼びかけられた。</p> <p>熟議 多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決・政策形成をしていくこと。 具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none">1．多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、2．課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、3．互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、4．解決策が洗練され、5．個々人が納得して自分の役割を果たすようになる、 <p>グループに分かれ本研究会の教員がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。高校生たちは付箋紙にインターネットの問題点をメモし、意見を出し合っていきます。歓声上がるほど活発な意見交換が、プロゲや掲示板、ツイッター、出会い系サイトなどについて出されました。自分たちのケータイへの依存の高さも振り返っていました。付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で意見を整理分類して、各グループでまとめて行きました。</p> <p>【第3部】</p>
---------------	---

	<p>グループごとにまとめた内容を発表していきました。</p> <p>1 班の発表は、フィルタリングの効果や掲示板、ブログなどでの情報の判断力についてです。2 班からは、加えて個人情報の問題やパケット料金についての課題が出されました。3 班からは、ウィルスの問題、対面でのコミュニケーションの大切さが指摘されました。4 班からは、チェーンメールの問題やネット利用の自己抑制の重要性があげられました。5 班は、ケータイ依存の問題やネット犯罪での被害者加害者を想定することで理解を深める内容でした。6 班は、マインドマップを活用してネット依存によるコミュニケーション不足やネット投稿の問題点を簡潔にまとめて、講評の日本教育工学協会理事・熊本市立河内中学校教頭の桑崎剛先生より評価を得ていました。</p> <p>最後に鎌田氏より熟議カケアイのサイトで引き続きオンライン上の議論をすることが呼びかけられました。次回の 8 月 21 日まで書き込むことができるので、オンライン上でも自分の意見を的確に主張してほしいと高校生に求められていました。</p> <p>詳細は別紙「グループ討議録」をご参照ください。</p>
「リアル熟議」 参加校：	<p>〔大阪府〕大阪羽衣学園高等学校、大阪学院大学高等学校、大阪薫英女学院高等学校、堺女子高等学校</p> <p>〔京都府〕京都女子高等学校</p> <p>〔兵庫県〕兵庫県立神戸商業高等学校</p> <p>〔奈良県〕関西中央高等学校 奈良県立奈良朱雀高等学校</p>
日 時：	2011 年 7 月 16 日（土）13:30-17:00
場 所：	<p>大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店）</p> <p>大阪府中央区和泉町 2-2-2</p> <p>アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町 4 丁目駅」8 番出口より徒歩 8 分</p>
参加人数：	<p>熟議参加生徒 37 人</p> <p>見学者 59 人（教員・教育関係者 27 人 その他 32 人）</p> <p>合計：96 人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。</p> <p>【第 1 班】8 人</p> <p>羽衣学園高等学校 3 年 女子</p> <p>羽衣学園功労学校 2 年 女子</p> <p>奈良県立奈良朱雀高等学校 3 年 男子</p> <p>大阪薫英女学院高等学校 1 年 女子</p> <p>大阪薫英女学院高等学校 1 年 女子</p> <p>大阪薫英女学院高等学校 1 年 女子</p> <p>兵庫県立神戸商業高等学校 3 年 女子</p> <p>関西中央高等学校 2 年 男子</p> <p>〔ファシリテーター〕</p> <p>聖母被昇天学院中学校高等学校 教諭 岡本弘之 先生</p> <p>〔書記〕</p>

大阪電気通信大学 當山達也

【第2班】5人

羽衣学園高等学校 3年 女子

関西中央高等学校 2年 男子

奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子

堺女子高等学校 1年 女子

大阪学院大学高等学校 1年 男子

〔ファシリテーター〕

大阪府立布施高等学校 教諭 竹内健二 先生

〔書記〕

宝塚大学 中川芳剛

【第3班】7人

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

羽衣学園高等学校 2年 女子

兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子

京都女子高等学校 3年 女子

大阪学院大学高等学校 1年 男子

〔ファシリテーター〕

大阪府立春日丘高等学校 教諭 吉村剛志 先生

〔書記〕

滋賀大学 大学院教育学研究科 横山成彦

【第4班】6人

京都女子高等学校 3年 女子

兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子

羽衣学園高等学校 2年 女子

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

大阪学院大学高等学校 1年 男子

〔ファシリテーター〕

京都女子高等学校 教諭 空閑知子 先生

〔ファシリテーター補助〕

関西中央高等学校 教諭 村上徹 先生

〔書記〕

武庫川女子大学 小幡咲季

【第5班】6人

	<p>兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子 関西中央高等学校 2年 女子 大阪薫英女学院高等学校 1年 女子 大阪薫英女学院高等学校 1年 女子 大阪薫英女学院高等学校 1年 女子 羽衣学園高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 柏市教育研究所 佐和伸明 様 〔書記〕 常盤会学園大学 西澤優梨香</p> <p>【第6班】5人 関西中央高等学校 1年 女子 京都女子高等学校 3年 女子 兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子 奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子 羽衣学園高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 大阪学院大学高等学校 教諭 松本宗久 先生 〔書記〕 大阪薫英女学院高等学校 教諭 川口範子 先生 プール学院高等学校 教諭 楠浦敦子 先生</p>
<p>第1回ネット熟議 スケジュール：</p>	<p>第一回「高校生熟議 in 大阪」(リアル熟議)を受け、下記の予定でネット熟議を開催いたします。</p> <p>第一回 2011年7月17日(日)00:00~2011年8月21日(日)24:00 熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」 文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ (http://jukugi.mext.go.jp/) (ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。)</p>

3. 第一回ネット熟議 開催概要

<p>開催趣旨：</p>	<p>ケータイ、ネットの課題について、7月16日開催の第一回高校生熟議 in 大阪の議論を踏まえ、リアル熟議より多くの参加者を交えて熟議することにより、課題点をより明らかにさせる。</p> <p>教育政策の形成過程を「見える化」することで、各施策の当事者への浸透度を上げる</p>
<p>第1回概要：</p>	<p>[熟議コーディネーター] 文科省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員 鎌田真樹子 [第一回ネット熟議ファシリテーター] 大阪私学教育情報化研究会 副会長/羽衣学園中高等学校 教諭 米田謙三</p> <p>リアル熟議第一回（ケータイインターネットの問題点）をもとにしたので、その振り返りが多く書き込みに見られた。</p> <p>ケータイについて 人によって違う視点があることがわかった。</p> <p>ケータイの機能に関して実際多くありすぎるのでは？という書き込みがあった。</p> <p>スマートフォンの事に関して書き込みがあった。ナビゲーションやスケジュール管理機能の便利性があげられた。</p> <p>関西のある学校の制携帯の話があげられた。保護者が通話履歴を見られるかどうかなど具体的なこともあげられた。</p> <p>東京都の推奨携帯電話のテーマがあげられモラルの重要性もあげられた。</p> <p>熟議における意見 7月16日（土）に開催した、リアル熟議「高校生熟議 in 大阪」の概要「ネットとケータイの問題点」について高校生が6つのグループに分かれ議論し、まとめたものは下記に掲載されています。</p> <p>〔第一回 高校生熟議 in 大阪〕http://www.osaka-sigaku.net/ictproject/ ネット熟議参加の皆さんには、リアル熟議の高校生の熟議のまとめをベースに、投稿をお願いしました。また、このネット熟議には、リアル熟議に参加した高校生も参加しました。参加高校生への問いかけやご質問、ご意見などもお願いしました。</p> <p>参考〔各グループの議事録〕 http://www.osaka-sigaku.net/global-image/units/upfiles/328-1-20110718145842.pdf</p> <p>書き込み 【第一回の感想】 第一回の熟議は女子が多かったのが第一印象でした。テーマに沿って他校の方々と討論するのも印象に残りました。また、人それぞれの意見も聞けたので、大変よかったです！ 今回のテーマはケータイとネットについての問題点でしたが、議論していく中で、「如何に意識して取り扱うか」が問題点を減らすヒントなのではないかと思いました。 ・懸賞サイト、広告 ・メール、チャットのやりとり ・個人情報 これら上記のようなものは、間違った使い方、興味本位、冗談などで軽く扱っているとそこ</p>

から問題点が増えていく場合もあるかもしれません。「これをするとうなるのか」や「本当に安心できるものなのか」などを考えて行動に移るだけでも問題点は改善されるのではと思いました。結局は僕も被害にあった時に思ったのですが、これは自己責任かもしれません。ですが、決して全てを自分で抱えることはしなくても良いと思います。家族、友達、先生や上司など、頼れる人がいるのであれば相談し合うのも一つの手ではと思います。

皆様、はじめまして。京都女子高等学校の はるちゃ です。第一回の熟議、参加しました。同じ議題であるのにも関わらず、班によって視点・プレゼンの仕方など 本当に様々で、すごく刺激を受け、吸収できるものも沢山ありました。次回の熟議も参加するつもりなので、またその時はよろしくお願いします。

はじめまして！私は羽衣高校のSAKIです。第一回目の熟議に参加しました！初めてだったので緊張してあまり発言が出来ませんでした。第二回はもっと発言します！ よろしくお願いします。

皆様、はじめまして。関西中央高校のヨシです。7月16日の熟議にも参加させて頂きました、その件は皆様ありがとうございました。こちらの方でもなるべく参加していきたいと思います。ご挨拶がおくれて失礼しました、これからよろしくお願いします。

はじめまして神戸商業のぐっさんです。第一回の熟議に参加して、初めは全然知らない人たちと意見を交換することに戸惑いを感じましたが、話し合っていくうちに打ち解けていくことができたので楽しく熟議を終わらせることができました。また次の熟議にも参加しようと思います。よろしくお願いします。

はじめまして若居です。第一回熟議では同じ高校生と意見交換でき、非常に有益な時間を過ごせました。一つの題（ネットとケータイの問題点）についてでも、人によって見る視点が違い、とても驚きました。また次も参加したいと思いますのでよろしくお願いします。

はじめまして、神戸商業高校のアヤです。第一回の熟議では、全然知らない方とたくさん意見を出し合うという機会は 初めてですごく為になりました。次回も頑張りますのでよろしくお願いします。

【携帯電話に関する質問や意見】

携帯を持ってないので、話し合いのときは殆どみんなの意見を聴くことぐらいしかできなかったのが残念です。友達はみんな携帯持ってるので気になってはいるのですが、自分は携帯を持った後何をしたいのか、と考えてしまってどうしても手が出せない状況です。携帯を持って、今はパソコンで十分なので、使わなければ「お金の無駄遣いじゃないか！」と・・・ まあ、携帯持ってたらいろいろ使うようになると思いますが、悩みます。携帯の便利な機能や、普段持ってたどの程度役立つか、などを教えていただければ助かります。これは危険だよ、と思うものがあればそれもお願いします。今後の参考にしたいと思います。

携帯の便利な機能や、普段持ってたどの程度役立つか、などを教えていただければ助かります。これは危険だよ、と思うものがあればそれもお願いします。今後の参考にしたいと思います。

私のケータイはスマートフォンなのですが、実際の使い方として、
・PCとネットを通してのカレンダーや連絡帳の共有
・Twitterでの連絡やニュース速報などの情報収集
・道に迷ったときにつかうのは、ナビゲーション機能。 僕が便利だと思っているのは、これくらいですかね。 PCでもスマートフォンでも同じカレンダーが見れるのはいつでも、スケジュールの管理ができるので、不意に「 月 日あけといてね。」とか言われてもすぐに対応できるので。 あとは、Twitterで地震の情報やニュース速報が流れた時なんかは、「サーバが混み合って見にくい」などといった状況にもならず良かったです。 ただ、ここでもデマ情報などには、注意が必要です。

ナビやゲーム、カメラや電子マネーなどがケータイの利便性だと思います。 逆に個人サイトにある掲示板やチャットは多少の危険はあります。(某サイトでは誹謗・中傷専用のスレッドなどがあります。) ケータイはノートパソコン・電子辞書よりも手軽で即座に検索もかけられるので、自分としてはかなり重宝します。 当たり前のようなことしか書いてなくてすいません。お役に立てたでしょうか？

僕も前までは携帯を持っていませんでした。 けれど、携帯を購入してからは日常生活が以前と比べて便利になりました。 メールや電話などで人との連絡が簡単にとれるようになったことが携帯の便利なところだと僕は思います。

先日、シンポジウムで制携帯なるもののお話を聞きました。以下、参考記事

http://eduon.jp/news/middle_schools/20090623-000846.html 制服みたいに、学校から指定の携帯電話を持たせてモラルの教育や使い方を教える、いわば、「ケータイ電話の仮免許」です。 これについての、意見を高校生の皆さんや、関係者の皆様からお待ちしております。 個人的には、この仕組みはよくできているように感じているので(臨機応変にフィルタリングを変えたり)賛成です。 また、嫌なことから目をそらすのではなく、負担は増えるが、きっちりと教えるこの取組は素晴らしいと個人的には感じています。

つい先日S高校の先生とお話する機会があったのですが、通話履歴やメールの監視は、保護者の開示要求があった場合のみだそうで、学校側が一方向的に監視することはないそうです。あくまで、「抑止力」という意味での監視だそうです。 この、「監視」というのも難しい物で、どこまで見られるように設定するか。どこまで、ログを残すか、どこまで個人のプライバシーを犠牲にするか。それと、学校と生徒・保護者の信頼関係も重要になってくるのではないかと思います。 年齢別にきちんと設定してあり、ある程度のポリシーが確立されているのであれば、個人的には、この取組はありではないかと考えます。

いちおう、プラスの評価が書いてある参考記事も張っておきます

<http://www.j-cast.com/2010/06/27069387.html?p=2>

【参加できなかった方からの意見や提案、その他参考情報】

東京都は、ケータイについて 取り組みが積極的です 推奨の基準を決める方向にて 参考資料程度にて 青少年向けの推奨携帯電話の「基準」を決定 東京都が全国初 首都圏3県でも

2011.6.20 <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/110620/crm11062021020029-n1.htm> 第6回携帯電話端末等推奨基準検討委員会の開催について 平成23年6月13

日 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2011/06/4016e100.htm>

この携帯電話を「推奨」できるだけ「基準」を定めることはとても将来性があり、今後首都圏だけでなく、日本全国に広がっていくと良いですね。奈良県では、今のところ校内では使用禁止が一般的ですので、こういった前向きな方向に進んでいけば、学校内でも「ルール」を守っての使用が許可される日が来るかもしれません。

そうすれば、学校の端から端まで、先生を呼びにいかなくても、ケータイの電話機能やメールだけですみますから、時間も、体力も消費せずに済みますね。なんて思ったりして・・・。

時代の変化が速いので、一度の議論ではなく、半永久的に時代に合ったルールが必要なのではないかと考えています。ガラパゴスケータイの方は携帯会社もフィルタリングなどのサービスをよく見かけますが、スマホへのサービスはその点はまだ不十分かもしれませんね。私のクラスでも、入学当初は、私1人がスマホで周りはガラパゴスケータイで少し異常に見られたかもしれませんが、今となっては、スマホのクラスメイトが増えて一般化しつつあるのではないかと感じています。今後は、スマホにもフィルタリングなどのサービスの充実やルール作りが求められるのかもしれないですね。「それは違うよ!!」「私はスマホだけどそういうサービスを知ってるよ!」などの共感、異論、情報提供をたくさんの人から待っています。

知っておきたい情報モラル Q&A

<http://www.iwanami.co.jp/.BOOKS/70/0/7000190.html>

情報モラルと著作権 改めて学ぶ必要を再認識しました

久し振りに読み返しました 以下 参考までに紹介しておきます 社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS) <http://www2.accs.jp.or.jp/> これって違法? <http://www.ihokamo.net/menu.html>

投稿した側のリスクで思い当たるのは・・・。
・会社から何らかの処分を受ける (解雇、減給など)
・社会的にも批判を受ける (ブログや Twitter などが炎上)
L・それらから、人間不信に陥ってしまう。(ネット上、リアルでも) 私が思いつくのはこれぐらいです。しかし、手軽に投稿できてしまう Twitter や Facebook のコメントはある意味、投稿ボタンを押す前やエンターキーを押す前にもう一度、この内容で良いのか悪いのかを判断する必要がありそうです。関係者の皆さん。高校生の皆さん。気軽に、共感、異論、意見、提案をお待ちしています。

「ネットは現実社会よりモラル低い」警察白書が調査報告 2011年07月25日
<http://dt.business.nifty.com/articles/5553.html> 少し前の記事ですが 匿名性は確かに高いですが 特定は不可能ではありません

確かに、名前や顔を見せずに自分の意見を「文字だけ」で公開できてしまいますからね。気軽にという表現は適切ではないかもしれませんが、気軽にモラルを破ってしまいそうです。そうならないためにモラルと情報モラルの教育をきちんと行っていく必要があるそうですね。ところで、こういった情報モラルの教育は何歳ぐらいから始めるべきなのでしょう?皆さんのご意見をお待ちしております。少し話題から脱線しますが、私も、時々Twitter で間違えて実名で友達を呼んでしまいそうな時があります。(投稿直前でハンドルネームに書き換えましたが) こんな経験皆さんはないですか?

	<p>ネットの世界に突然 飛び込むのではなくて 特性、仕組み等は最低限 理解しておくべきでしょうね 情報モラルの前段階として 人として やってはいけない事、規範を守る、人を傷つけない等 日常生活、集団生活の中での ルール、マナーを見につけるべきでしょう 家庭、地域、学校 それぞれが 子どもを見守る必要を痛感します それが、ほころびていると思います この熟議に参加されている 生徒さんは大丈夫でしょう。</p> <p>昨日は日吉の慶応キャンパスにて、高校生主催による初の高校生熟議が開催されました。高校生100名以上が集まって、とても活発な議論がなされました。当日15のグループ、10分ずつ議論に加わり参加してきました。高校生が議長となり、書記がいてまとめて行き、スムーズに最後の発表をしていきました。運営スタッフもすべて高校生です。午前と午後、それぞれ別のテーマでしたが、長時間にわたる議論、みんな元気に楽しく熟議を経験したと思います。このように全国で高校生熟議がどんどん開催されていくと、きっと新しい日本の未来が開けると感じました。大阪熟議の時も感じましたが、高校生のみなさんのエネルギーは凄いですね。ちょうど同時期、大阪と東京で開催された高校生熟議ですが、大阪はあと二回あり、ネット熟議も続いて開かれています。3回目には高校生の皆さんが自らまとめていきます。長距離型となりますが、ぜひみなさん、意見やコメントお寄せくださいね。</p> <p>ネット熟議の開催期間があと3日となりました。27日はよいよ第二回目の熟議が開催されます。18日には、サイト運営者のみなさんのプレ熟議を開催し、どのようなテーマで皆さんにお話するか議論しました。ネット熟議も27日にむけて議論がもりあがるといいですね！みなさんの投稿をお待ちしています。須磨学園の保護者の方へのインタビュー、そして西理事長へのインタビュー記事が、グットタイムスに掲載されています。</p> <p>http://times.good-net.jp/educational_suma-parent.html ぜひ参考に見てください。その他の記事も大変参考になる記事だと思います。</p> <p>【次回に向けての提案】</p> <p>第1回 熟議お疲れ様でした。1班の記録をやっていた人です。熟議まとめを確認させて頂きました。2段組になったり、インデントを入れて見やすくしていたものが、消えてしまったりと、かなり見難いまとめになってしまったのでは？と感じましたが、いかがでしょうか？もし、第2回、3回とこのような感じでまとめを上げる。ということになるのであれば 2段組で、テンプレートファイルを作って 全ての班の記録用紙に統一性をもたせ もう少し見やすいまとめにしたほうがよいのでは？と感じましたが、いかがでしょうか？</p> <p>是非 お願いします。テンプレート 送ってください。記録はOB,OGが担当してくれています。流れをわかってくれているので 大変助かっています</p>
開催期間：	7月17日(日)0:00～8月21日(日)24:00
参加人数：	ネット熟議参加者 23人 発言数 83件
第2回リアル熟議	第一回「高校生熟議 in 大阪」(リアル熟議)及び第一回「ネット熟議」を受け、下記の予定で第二回「高校生熟議 in 大阪」を開催いたします。

スケジュール：	第二回 2011年8月27日(日) 13:30 ~ 17:00 熟議テーマ「私達にとってのケータイ、インターネットとは」 於：大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)
---------	--

4. 第二回リアル熟議 ファシリテーター会議 模擬熟議開催概要

模擬熟議概要：	<p>第2回の開催を控え、当日、初めてファシリテーターを務める事業者を対象に、文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員の鎌田真樹子氏を迎えて、ファシリテーター会議を開催。熟議の意味や在り方、ファシリテーターの役割の説明に加え、参加者による模擬熟議を実践し、熟議を体験することにより第2回に備えた。</p> <p>1. 熟議について 熟議について以下の項目について説明を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 熟議とは2) リアル熟議とネット熟議3) ファシリテーターの役割4) メンターの導入とその役割 <p>第2回は、より熟議による議論を活性化させることを目的にメンター制を導入することとした。</p> <p>2. 模擬熟議 第2回に予定されている、事業者による講演内容について、『「高校生熟議」に最適な講演テーマの検討』をテーマに第2回のファシリテーターによる模擬熟議を開催した。</p> <p>2グループに分かれ自己紹介の後、ファシリテーターと書記を決め、『「高校生熟議」に最適な講演テーマの検討』をテーマに模擬熟議を開始しました。参加者とも高校生がどんな話に興味を持ち、また熟議を行うのにどんな情報が有用かを忌憚なく意見を出した。</p> <p>3. 発表とテーマ決め 各グループ毎に模擬熟議の内容を発表していきました。</p> <p>1班の発表は、高校生にインターネットの基礎的知識の提供、インターネットで現実に起きていること、今後のインターネットの動向などについて4つのテーマを明示し、事業者が分担するべきだと発表した。</p> <ul style="list-style-type: none">・インターネット、スマートフォン、携帯電話の仕組み・違法・有害情報監視業務・携帯電話からスマートフォンへの移行・今後のインターネットの方向性 <p>2班は、高校生が何を知りたいかという点について掘り下げ、一つのテーマに絞って、各社が切り口を変えて話をするべきではないか、統一性がなくても高校生は与えられた情報を自己で処理することが可能ではないか、事業者の特徴的なサービスの視点に立って説明するべきではないかと発表した。</p> <ul style="list-style-type: none">・スマートフォン戦略
---------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・国際戦略 ・監視業務 ・ゲーム戦略 <p>以上を踏まえ、両社に本質的な違いがないことから、1班の趣旨に沿って、各社がどのテーマを担当するかを決めた上で、具体的なタイトルについては、後日連絡することを確認して終了した。</p> <p>模擬熟議を体験することにより、参加者からは、これまでの会議と異なり、立場などにとらわれず自由に気軽に意見を発することができ、活発な議論ができた。それだけにファシリテーターの役割の重要性を確認できた。今後もこの手法は、社内外でも導入したい、など意見が出た。</p> <p>4. ネット熟議への参加</p> <p>最後に現在開催中の第一回ネット熟議への参加と、8月28日より開催の第二回ネット熟議での積極的な関わりを要請した。</p>
<p>「模擬熟議」 事業者：</p>	<p>株式会社ディー・エヌ・エー グリー株式会社 株式会社ガイアックス NHN Japan 株式会社 株式会社インテグラル 株式会社 SDV ホールディングス 一般社団法人 情報教育研究所 安心ネットづくり促進協議会 他</p>
<p>日時：</p>	<p>2011年8月18日(土) 10:00-12:30</p>
<p>場所：</p>	<p>一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 会議室 東京都港区西麻布 1-4-38 千歳ビル3階</p>
<p>参加人数：</p>	<p>模擬熟議参加者 14人</p>
<p>熟議グループ：</p>	<p>【第1班】7人 株式会社インテグラル 吉井美華 NHN Japan 株式会社 高橋 誠 文科省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員 鎌田真樹子 目白大学社会学部メディア表現学科 町田沙奈美 グリー株式会社 阿久津伴寛 グリー株式会社 小木曾健 株式会社ディー・エヌ・エー 大道あゆみ</p> <p>〔ファシリテーター〕 グリー株式会社 小木曾健</p> <p>〔書記〕 株式会社ディー・エヌ・エー 大道あゆみ</p>

【第2班】7人

株式会社 SDV ホールディングス 北口博一

株式会社ディー・エヌ・エー 奥田麻依子

グリー株式会社 原田聖子

ネット教育アナリスト 尾花紀子

安心ネットづくり促進協議会 事務局 石原友信

株式会社ガイアックス 平田夏鈴

一般社団法人 情報教育研究所 永坂武城

〔ファシリテーター〕

株式会社ガイアックス 平田夏鈴

〔書記〕

株式会社ガイアックス 平田夏鈴

5. 開催プログラム

リアル熟議 第一回 2011年7月16日(土) 13:30-17:00

於:大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」

13:00~	開場、受付開始
13:30~ 13:50	開会の挨拶・講演 「インターネットと違法・有害情報への政府の取組」 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政課 課長補佐 中村 朋浩 様
13:50~ 14:20	第一部:アイスブレイク 「論理的思考力を鍛えるアイスブレイク」 羽衣学園中高等学校 教諭 米田 謙三 先生
14:20~ 14:30	休憩
14:30~ 14:45	第二部:熟議 [熟議イントロダクション] 『熟議とは』 文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する 懇談会委員 違法有害情報相談センター 実務アドバイザー 鎌田 真樹子 様
14:45~ 14:50	グループ分け 移動
14:50~ 16:30	[高校生熟議] (ケータイ ネットの問題点) 熟議ファシリテーター、補助、書記: (大阪私学教育情報化研究会 所属教員、大学生)
16:30~ 16:45	第三部:グループ発表
16:45~ 16:55	(1) グループ発表 (2) 次回までの予定 ネット熟議「熟議カケアイ」について
16:55~ 17:00	質疑応答

ネット熟議 第一回

2011年7月17日(日) 00:00 ~ 2011年8月21日(日) 24:00

熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」

文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ

<http://jukugi.next.go.jp/>

(ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。)

【第二回以降の予定】

リアル熟議 第二回 2011年8月27日(土)(予定) 13:30-17:00

於:大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

熟議テーマ「私達にとってのケータイ、インターネットとは」

(登壇者等については予定)

13:00~	開場、受付開始
13:30~ 13:35	開会の挨拶 文部科学省 生涯学習政策局 政策課
13:35~ 13:50	第一部: ネット熟議の状況、まとめ報告
13:50~ 14:00	「今必要とされるネットリテラシーとは」 株式会社ガイアックス
14:00~ 14:10	「サイト健全化維持の取り組み」 株式会社ディー・エヌ・エー
14:10~ 14:20	「スマートフォンから始まる未来」 グリー株式会社
14:20~ 14:30	「今後のインターネットの方向性」 NHN Japan 株式会社
14:30~ 14:40	「アイスブレイク」 羽衣学園中高等学校 教諭 米田 謙三 先生
14:40~ 14:50	休憩
14:50~ 16:30	第二部: 熟議 [高校生熟議] (私達にとってのケータイ・インターネットとは) 熟議ファシリテーター、補助、書記: (コミュニティサイト運営事業者、監視事業者等、大学生)
16:30~ 16:45	第三部: グループ発表 (3) グループ発表
16:45~ 16:55	(4) 次回までの予定 注意事項 ネット熟議「熟議カケアイ」について
16:55~ 17:00	質疑応答

ネット熟議 第二回

2011年8月28日(日) 00:00 ~ 2011年9月25日(日) 24:00

熟議テーマ「高校生にとってのケータイ、インターネットとは」

文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ

<http://jukugi.mext.go.jp/>

ネット熟議 第三回

2011年9月26日(日) 00:00 ~ 2011年10月23日(日) 24:00

熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」

文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ

<http://jukugi.mext.go.jp/>

(ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。)

リアル熟議 第三回 2011年11月3日(木)(予定) 11:00-16:30

於:大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」

(登壇者等については予定)

10:30~	開場、受付開始
11:00~ 11:05	開会の挨拶 大阪私学教育情報化研究会 会長 大阪薫英女学院中・高等学校長 白井 孝雄 先生 注意事項
11:05~ 12:00	[高校生熟議] (これからのネットとケータイを考える) 熟議ファシリテーター、補助、書記: (高校生代表、教職員、事業者)
12:00~ 13:00	休憩
13:00~ 14:30	第二部:グループプレゼンのためのまとめ作業 グループ分け 移動 [各自プレゼン資料制作(PPT)]
14:30~ 15:30	第三部:グループ発表 (5) グループ発表
15:30~ 16:00	講評・総括 日本教育工学協会 理事/熊本市立河内中学校 教頭 桑崎 剛 先生(予定)
16:00~ 16:30	意見 感想 まとめ

高校生熟議 in 大阪 報告会 2011年11月頃

文部科学省 鈴木 寛 副大臣に代表者から成果をプレゼン実施予定

於:文部科学省

6. 担当

大阪私学教育情報化研究会	米田	司会
熟議懇談会	鎌田	熟議全般、
EMA	吉岡	庶務（撮影含む）
安心ネットづくり促進協議会	石原	庶務（撮影含む）
大阪私学教育情報化研究会		受付
内田洋行		会場設営、機材準備等

7. リアル熟議 成果物と終了後の対応

- 1) 書記は、PC を使い、Word で熟議の内容を記録。
- 2) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 3) リアル熟議終了後、書記が記録した各グループの熟議内容を PDF 化し、発表の画像と併せて、大阪私学教育情報化研究会のサイトにアップデート
- 4) ネット熟議のサイトに大阪私学教育情報化研究会の当該頁のリンク URL を記載
- 5) 第三回終了後、桑崎先生の総評と併せて、大阪私学教育情報化研究会にて取りまとめ
- 6) 鈴木寛文部科学副大臣へのプレゼンテーション

8. ネット熟議 進行と成果物

- 1) ネット熟議の開始は、事前に鎌田さんより案文を作成の上、文科省に提出
- 2) 定刻に自動でネット熟議開始
- 3) 米田先生は、ネット熟議のファシリテーターとして議論の整理
- 4) 関係者は、高校生を含め、ネット上で議論を継続
- 5) 必要に応じて、グループ毎、個別課題での議論が必要な場合には、スレッドを立てる
- 6) ネット熟議終了後、大阪私学教育情報化研究会にて、ネット熟議の成果を整理の上、次回のリアル熟議にて、前回のリアル熟議と併せて発表